本校は、１９２８年（昭和３年)、県庁前の栃木県女子師範学校に併設開設されて以来、「知育はもとより、女性としての人間教育に重点を置く」との創設の理念のもと、学業はもちろんのこと、スポーツに文化活動にといそしみ、またしっかりとした躾を基として礼儀正しく穏やかで思いやりのある心を培い、「日本一の女子高」をめざしてひたむきに励んで参りました。

そんな本校が、２０２２年度（令和４年度）入学生から、男女共学となることが決定いたしました。このような決定に至ったことに残念な思いも少なからずございますが、男女共同参画の一層進展するであろう今後のグローバル社会においても、力強くかつしなやかに生き抜ける女性を育成するという本校の使命を考えたとき、この決定を敢えて本校の将来の発展のためと、前向きにとらえたいと考えます。本校の創設の理念はもちろん、第二高女、松原高校、宇都宮中央女子高として培ってきた教育理念や、積み重ねてきた伝統をしっかり踏まえつつ、新たな価値を創造し、男女問わず、これからの不透明な時代をリーダーとして力強く切り開き牽引していけるような、知力、体力、人間力を備えた人材を輩出できるよう、骨太の学校づくりに邁進し、宇都宮市民はもとより、広く県民にとって魅力ある学校の実現を、ここにお約束をさせて頂きます。

そのため、大学教授等の有識者、県内財界、地域の方々、同窓会等の学校関係者などの方々を委員とした「設立準備委員会」を立ち上げたところですが、学校と一体となって、具体的な議論を行って参ります。またその議論の様子をはじめ、共学に向けた進捗状況等についても、広くご紹介し、市民・県民の皆様方のご期待に応えられるよう、開かれた学校づくりに努めたいと考えております。

本校の新たな姿に大いにご期待頂くと共に、今後とも引き続いてのご支援を衷心よりお願い申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

校長　日向野　勝